

The essentials of imaging の実現に向けて

コニカミノルタホールディングス株式会社

代表執行役社長 岩 居 文 雄



コニカとミノルタが統合を発表したのは昨年（2003）の1月でした。それ以来、株主やお客様のことを第一に考えスピード重視で統合を進め、8月に統合、10月に子会社再編を行いました。現在コニカミノルタグループは、事業分野別に編成された事業会社と共通機能会社から構成されています。研究開発は共通機能会社の一つ、コニカミノルタテクノロジーセンター(株)と各事業会社の開発部門とで、基盤技術から製品開発まで分担、協力しながら行っています。

本冊子は、グループ全体の技術報であり、新生コニカミノルタグループの記念すべき創刊号としてお届けするものです。

コニカとミノルタは違った個性、技術を持った会社でしたが、どちらもイメージングの領域で長い歴史を積み重ねてきた会社でした。統合により新しい会社、グループになってもドメインは変わりません。

コニカミノルタは企業メッセージとして「**The essentials of imaging**」を発信していきます。これには2つの意味があります。ひとつはお客様に必要とされる**Imaging**のサービス、製品を提供していくということであり、2つ目は、コニカミノルタグループが**Imaging**の領域で、なくてはならない存在になると言う意味をこめています。どちらの意味においても、実現して行くには強い技術力が不可欠であり、保有す

る画像技術、ナノ技術、光学技術、材料技術を融合し、高度化・発展させて行くことがグループの存立基盤だと考えています。そのために、今までにも増して、研究開発にこだわり、最大限資源を投入し続けていきます。

統合により、保有技術の幅は広がりましたが、ただ単に数が増えたということではなく、**Imaging**領域にフォーカスされた技術ばかりですから、その技術者たちが一つのグループの中で交流することで、互いに影響を与え合い、それぞれの技術を伸ばすだけでなく、お互いの強みを融合して新しい価値を生み出すシナジー効果を発揮して行きます。

当社では、東京都八王子市の事業サイトを研究センターと位置付け、新たな投資をしており、今年の春には新しい研究棟が完成します。ここでの研究、交流で、保有技術を伸ばすとともに、新しいコアとなる技術、新規事業を生み出して行く所存です。

本誌の論文はこのような活動の中で生み出されたこの1年間の成果をまとめたものです。統合しての活動は始まったばかりです。本誌も創刊号です。本号に留まらず、次号以降でもさらなる発展を紹介していく所存です。本誌の内容について忌憚らないご意見を賜りますとともに、今後の展開にもご期待を頂ければ幸いです。